

木更津工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	卒業研究
科目基礎情報						
科目番号	0236		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	実験・実習		単位の種別と単位数	履修単位: 8		
開設学科	電気電子工学科		対象学年	5		
開設期	通年		週時間数	8		
教科書/教材						
担当教員	浅野 洋介					
到達目標						
研究の遂行とプレゼンテーションができる。 研究内容を論文形式でまとめることができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
研究の遂行	研究計画を立案し、研究を遂行することができる		計画に沿って研究を遂行することができない		計画に沿って研究を遂行することができない	
プレゼンテーション	研究成果をわかりやすく発表することができる。		研究成果を発表することができる		研究成果をプレゼンテーションすることができない	
論文執筆	研究内容をわかりやすく論文形式でまとめることができる		研究内容を論文形式でまとめることができる		研究内容を論文形式でまとめることができない。	
学科の到達目標項目との関係						
準学士課程 2(1) 準学士課程 2(2) 準学士課程 2(3) 準学士課程 3(1) 準学士課程 3(3) 準学士課程 4(1) 準学士課程 4(2) JABEE C-2 JABEE D-2						
教育方法等						
概要	各教員の指導のもとで研究を実施し、発表会にてにおいてその成果を発表する。また、論文形式で研究報告書を作成する。					
授業の進め方・方法	各指導教員の指示で進める。					
注意点	高専教員は、大学教員と同じく学会等で活躍する研究者でもあり、それぞれが専門の研究分野を持っている。卒業研究では、研究者の指導のもとで学生各々が研究を行う。教員の専門分野や研究テーマを理解し、自分の研究テーマを決めることが重要である。そのテーマに向け、自主的、積極的に取り組みれば、これまでの知識が総合的に開花し、研究の困難さと共にその楽しさを知ることができるであろう。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	課題研究の課題の再検討		課題研究の課題を再認識し今後の方針を検討できる	
		2週	卒業研究テーマの決定		卒業研究テーマを決定し計画を立てる	
		3週	研究実施		計画に沿って研究を遂行することができる	
		4週	研究実施		計画に沿って研究を遂行することができる	
		5週	研究実施		計画に沿って研究を遂行することができる	
		6週	研究実施		計画に沿って研究を遂行することができる	
		7週	研究実施		計画に沿って研究を遂行することができる	
		8週	研究実施		計画に沿って研究を遂行することができる	
	2ndQ	9週	研究実施		計画に沿って研究を遂行することができる	
		10週	研究実施		計画に沿って研究を遂行することができる	
		11週	研究実施		計画に沿って研究を遂行することができる	
		12週	研究実施		計画に沿って研究を遂行することができる	
		13週	研究実施		計画に沿って研究を遂行することができる	
		14週	研究実施		計画に沿って研究を遂行することができる	
		15週	研究実施		計画に沿って研究を遂行することができる	
		16週				
後期	3rdQ	1週	研究室決定		計画に沿って研究を遂行することができる	
		2週	研究実施		計画に沿って研究を遂行することができる	
		3週	研究実施		計画に沿って研究を遂行することができる	
		4週	研究実施		計画に沿って研究を遂行することができる	
		5週	研究発表準備		抄録を作成し研究発表の準備ができる	
		6週	研究発表準備		抄録を作成し研究発表の準備ができる	
		7週	研究中間発表		研究の中間成果を発表することができる	
		8週	研究実施		計画に沿って研究を遂行することができる	
	4thQ	9週	研究実施		計画に沿って研究を遂行することができる	
		10週	研究実施		計画に沿って研究を遂行することができる	
		11週	研究発表準備		抄録を作成し研究発表の準備ができる	
		12週	研究発表準備		抄録を作成し研究発表の準備ができる	
		13週	報告書作成		研究内容を論文形式でまとめることができる	
		14週	報告書作成		研究内容を論文形式でまとめることができる	

		15週	報告書作成	研究内容を論文形式でまとめることができる
		16週	研究発表	研究成果を発表することができる
評価割合				
		発表	報告書	合計
総合評価割合		50	50	100
基礎的能力		0	0	0
専門的能力		50	50	100
分野横断的能力		0	0	0